

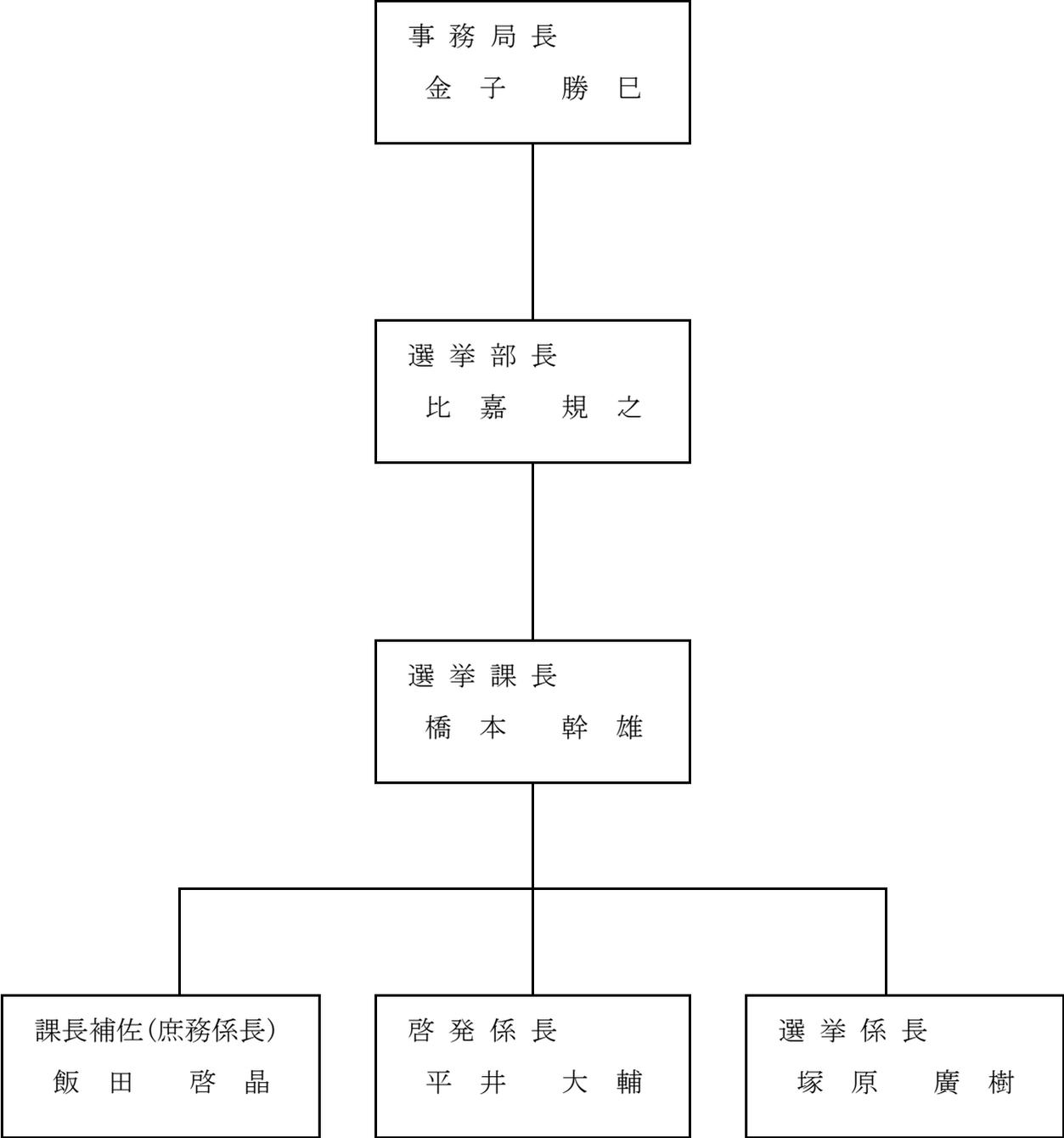
機 構 及 び 事 務 分 掌

(平成 29 年 5 月 18 日)

選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局

選挙管理委員会事務局機構図

平成29年5月18日現在



選挙管理委員会事務局事務分掌

選挙課

庶務係

- (1) 局内の予算及び決算に関すること。
- (2) 局内の人事及び文書に関すること。
- (3) 局の危機管理に関すること。
- (4) 公印の管守に関すること。
- (5) 他の係の主管に属しないこと。

啓発係

- (1) 選挙思想の常時啓発に関すること。
- (2) 各種選挙時の啓発に関すること。

選挙係

- (1) 選挙管理委員会に関すること。
- (2) 委員会の議事に関すること。
- (3) 区選挙管理委員会に関すること。
- (4) 各種選挙の執行及び管理指導に関すること。
- (5) 直接請求事務に関すること。

平成 29 年度

予 算 説 明 書

選挙管理委員会事務局

目 次

平成 29 年度一般会計歳入予算説明	ページ 1
平成 29 年度一般会計歳出予算説明	2

平成29年度 一般会計歳入予算説明

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増△減	説 明	説明書 対照頁
	千円	千円	千円		
19款 県 支 出 金	3,256	970,459	△ 967,203		
3項 県 委 託 金	3,256	970,459	△ 967,203		
1目 総 務 費 県 委 託 金	3,256	970,459	△ 967,203		
(4) 海区漁業調整委員会 委員選挙人名簿 調製費委託金	25	25	0	神奈川県海区漁業調整委員 会委員選挙人名簿調製費 に対する県委託金	76
(5) 在外選挙人名簿登録 調製費委託金	2,384	2,437	△ 53	在外選挙人名簿登録調製 費に対する県委託金	76
(6) 明るい選挙推進費 委託金	847	847	0	明るい選挙推進に対する 県委託金	76
(廃) 海区漁業調整委員会 委員選挙費委託金	—	3,200	△ 3,200		
(廃) 参議院議員選挙費 委託金	—	963,950	△ 963,950		
歳 入 合 計	3,256	970,459	△ 967,203		

平成29年度 一般会計歳出予算説明

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増△減	説 明	説明書 対照頁
	千円	千円	千円		
2款 総 務 費	1,940,828	1,857,219	83,609		
9項 選 挙 費	1,940,828	1,857,219	83,609		
1目 選 挙 管 会 理 費	850,828	893,269	△ 42,441	<p style="text-align: right;">千円</p> (1) 市・区選挙管理委員及び職員に対する報酬・給料等 801,669 (2) 運営費 16,559 (3) 選挙常時啓発費 17,489 (4) 明推協事業費 15,111	133
2目 市 長 選 挙 費	1,090,000	—	1,090,000	平成29年8月29日任期満了に伴う横浜市長選挙執行に要する経費	134
(参議院議員選挙費)	—	963,950	△ 963,950	(廃 目)	
歳 出 合 計	1,940,828	1,857,219	83,609		

平成 29 年度 選挙管理委員会事務局 運営方針

『選挙の確実な執行と積極的な投票参加の推進』

I 基本目標

～「公正かつ円滑な選挙の執行管理」とともに、有権者のニーズを踏まえた「投票しやすい環境づくり」、横浜市長選挙に向けた「効果的な啓発事業」を実施します。～

II 目標達成に向けた施策

1 公正かつ円滑な選挙の執行管理

- 横浜市長選挙の公正かつ円滑な執行
- 急施を要する選挙についても対応できる体制の構築

2 投票しやすい環境づくり

- 大学への期日前投票所設置の推進
- 「誰もが投票しやすい投票所」への取組の推進
- 投票環境向上のための取組の検討

3 効果的な啓発事業

- 横浜市長選挙に向けた啓発事業の実施
- 主権者教育の推進
- 区・市選管、関係機関との連携による啓発の実施

III 目標達成に向けた組織運営

≪ “チーム選挙” の総合力アップ ≫

選挙の公正かつ円滑な執行のため、区・市選管職員のスキルアップを図り、組織力の向上に取り組みます。

区選管、関係機関等との連携・協働

公正・円滑な選挙執行や投票参加の推進には、区選管・明推協、自治会町内会及び関係機関等との連携が不可欠です。

そこで、あらゆる機会を通じて、情報の共有と緊密な連携・協働を図ります。

職員のスキル、チーム力の向上

区・市選管職員の選挙事務のスキルアップを図るため、新入・転入職員への研修等を実施するとともに、実務的な知識・ノウハウを共有・継承するための実践的な研修等を充実します。

市民の信頼に応える適正な事務執行

選挙に関連した法令遵守が全庁的に徹底されるよう、引き続き取り組めます。

また、組織として事務の進捗を適切に管理・共有し、遅延等の不適切な事務が発生しないよう、確認を徹底します。

ワークライフバランス、ワークスタイル改革の推進

計画的、効率的な業務執行により、超過勤務の縮減を図るとともに、ワークライフバランスを推進します。

また、ペーパーレスや会議効率化等、ワークスタイル改革の取組を推進します。

1 公正かつ円滑な選挙の執行管理

【主な事業・取組】

- 横浜市長選挙の公正かつ円滑な執行
- 急施を要する選挙についても対応できる体制の構築

【内容】

- ⇒①期日前投票の円滑な執行(7/17~7/29)
- ②投票・開票の円滑な執行(7/30)
- ③立候補受付、選挙会の円滑な実施(7月)
- ⇒①区割り審勧告への対応(4月~8月)

2 投票しやすい環境づくり

【主な事業・取組】

- 大学への期日前投票所設置の推進
- 「誰もが投票しやすい投票所」への取組の推進
- 投票環境向上のための取組の検討

【内容】

- ⇒①市長選挙における複数大学への期日前投票所の設置(7月)
 - ・慶應義塾大学、神奈川大学、横浜市立大学(調整中)
- ⇒①車椅子の全投票所への設置
- ②高齢者・障害者への対応マニュアルの徹底
- ⇒①臨時期日前投票所の見直し

3 効果的な啓発事業の実施

【主な事業・取組】

- 横浜市長選挙に向けた啓発事業の実施
- 主権者教育の推進
- 区・市選管、関係機関との連携による啓発の実施

【内容】

- ⇒①市長選挙に向けた啓発事業の実施
 - ・啓発方針の決定(4月)
 - ・SNSを活用した若年層への選挙啓発の推進
 - ・啓発事業の実施(5月~7月)
- ⇒①高校
 - ・「模擬選挙推進校」の支援(通年)
- ②小中学校
 - ・中学3年生向け副教材「あと3年」の改訂(9月)
 - ・給食選挙及び中学校での生徒会選挙の支援(通年)
- ⇒①区イベント(区民まつり等)と連動した「投票にイコット!キャンペーン」の実施(9月~11月)
- ②「日本赤十字社」等との連携(通年)

4 “チーム選挙”の総合力アップ

【主な事業・取組】

- 職員のスキル、チーム力の向上
- 市民の信頼に応える適正な事務執行
- ワークライフバランス、ワークスタイル改革の推進

【内容】

- ⇒①他都市での投開票実務研修の実施(4月)
- ②基礎研修の実施(5月)
- ③実務研修の実施(10月~11月)
- ④局長以下全職員参加の朝礼を活用した業務の進捗確認と共有(通年)
- ⇒①年次休暇・夏季休暇17日取得及び連続休暇の積極的な取得(通年)
- ②定時退庁の励行強化(選挙時を除く通年)
- ③超過勤務実施ルールの徹底(通年)
- ④ペーパーレス、会議効率化の推進(通年)
- ⑤フレックスタイム制度の試行(6月~9月)